日本原子力発電株式会社　東海第二発電所
屋外東側エリアにおける火災に係る立入調査結果について

令和８年１１月１６日
防災･危機管理部原子力安全対策課

令和８年１１月１６日に日本原子力発電（株）東海第二発電所の屋外東側エリアにおいて火災が発生したことについて、県は、同日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

１　実施日時
令和８年１１月１６日（月）　１７時００分～１８時００分

２　実施者
県、東海村

３　立入調査結果
以下のことについて、聞き取り及び現場調査で確認した。また、溶融等が確認されたプロパンガス気化用の電気ヒータの端子部を確認した。

〇　環境影響
・　火災発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められない。

〇　施設等への影響
・　当該ヒータは、管理区域外に設置されたものであり、施設の安全上の影響はない。
・　当該ヒータの端子部に溶融等が確認されているが、周辺の設備、建屋への影響は確認されていない。

〇　現在の措置状況
・　当該ヒータについて、通電を遮断する措置が取られている。
・　プロパンガス気化用のガス配管は、窒素置換された状態であり、ガスの供給を遮断する措置が取られている。

４　要請事項
立入調査後、以下のとおり要請を行った。
・　早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

５　今後の予定
原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等で対応状況を確認していく。